



Vol.26

梅の部屋

in OSAKURA

梅雨

こんにちは。

6月に入ってとうとう梅雨が始まりましたね。今は梅雨の中休みということで、晴れていますがあと何日かしたら暫く雨が降り続くようです。

先日から三連水車も回り始め、農家の方は皆さん田植えで忙しそうにされています。あの水車が回ることによって、広範囲の田んぼに水が流れていく様を見るたびに、昔の人々の技術と知恵の素晴らしさを感じさせられます。

今年は見に行きませんでした。去年は通水式を見に行きました。普段何気なく見ていた三連水車がどんな風に回り始めるのかを初めて見て、驚いた記憶があります。

梅雨に入って災害の心配もありますが、どうか大きな災害もおきず、無事に梅雨が明けるよう願うばかりです。

修学旅行

朝倉グリーンツーリズム協議会では、6月20日、21日に大阪から来た約300名の高校生の受け入れを行いました。今回は体験のみで、1日目2日目それぞれ別の生徒の受け入れを行いました。2時間〜3時間という短い時間での体験でしたが、生徒たちはとても楽しんでいました。

関わるとは、
子どもと
はやっぱり
楽しい
です。

うめ

私が行った家庭ではキュウリの収穫体験と蕎麦打ち体験を行っていて、生徒たちはキュウリがなつてのを見るのも収穫するのも初めてだったようで、大きな体を縮こませて恐る恐るキュウリを収穫していました。収穫したキュウリを不思議そうに見つめながら、「楽しい」と呟いてる姿は高校生と言っても子どもらしさがあつて、とても微笑ましかったです。



蕎麦打ちではなかなか粉が固まらず、それぞれ悪戦苦闘しながらも、終始楽しそうに取り組んでいました。出来上がったお蕎麦を食べながら「今日はここに泊まりたい」「帰りたくない」と口々に言っていました。それは他の生徒も同じだったようで離村式の為に会場に帰ってきた生徒たちも「泊まりたい」と言っていました。しまいにはたった3時間ほどしか一緒にいなかったのに、帰り際に泣き出す子もいました。

そんな生徒たちの姿や、楽しげに生徒たちと交流をする受け入れ家庭の皆さんの姿を見て、改めてこの活動の良さを感じることができました。

それでは今回はここまで。
また次回〜！



体験型教育旅行 受入れ家庭大募集



農村体験・農村民泊の受入れ家庭を募集しています!!

朝倉グリーンツーリズム協議会では、都会の子ども達や住民の方々に「朝倉での暮らしや人との触れ合い」を通して「あさくら」の魅力を伝え、地域の活性化に繋がるよう活動をしています。

現在は国内の小学校、中学校、高校の教育旅行や体験の受け入れを積極的にを行っています。近年では「日本の生活や文化を学びたい」ということで海外の学生さんや個人でいらっしゃる方も増えており、国際交流の場にもなっています。

そんな活動をしている協議会ですが、現在の受入れ家庭軒数では対応しきれない場合もあり、朝倉に來たいと言ってくれる方々をお断りしているケースも多くなります。

そこで、朝倉グリーンツーリズム協議会では農業体験や農村民泊を受け入れていただける家庭を随時募集しています。

是非、受け入れを通して「あさくら」の魅力と一緒に発信していきませんか？



受け入れに関してよくある質問

Q. 具体的に体験ってどんなことをしたらいいの？

A. 家庭によって様々ですが、例えば以下の体験があります。

- ・料理
 - ・野菜の種まき
 - ・野菜の植え付け
 - ・野菜の収穫
 - ・苔玉作り
 - ・生き物の観察
 - ・味噌づくり
 - ・歴史散策
 - ・庭の手入れ
 - ・しめ縄作り
- 普段の何気なくしていることが、子どもたちにとってはとても素敵な体験になるんです！



Q. ボランティアなの？

A. 受け入れて頂いた場合は、受入れ家庭に謝礼をお支払いします。

【例】中学生3名を受け入れた場合(一泊二日二食・半日農業体験付)

5,400×3人＝16,200円

※食材や寝具等は受入れ家庭でご準備ください。

Q. 農家じゃないけどいいの？

A. 農家でなくても問題ありません！普段と違う生活を送ることが立派な体験となります。家で農業体験ができない場合は、近隣の受入れ家庭との連携等を協議会で調整させて頂きますので、ご相談ください！

問い合わせ先

農村体験・農村民泊に少しでも興味のお持ちの方は、是非ご連絡ください！

電話..0946・24・6758